ＪＲ連合
ＮＥＷＳ

ＪＲ産業に集う
すべての仲間の
ＪＲ連合への
総結集を！！

2026 年度
Ｎｏ．３９

２０２６年１１月２０日
日本鉄道労働組合連合会

ＪＲ九州連合第３６回定期大会

ＪＲ九州連合は 11 月 12 日、福岡市内で第 36 回定期大会を開催し、１年間の運動方針を決定するとともに、運動を牽引する幹事会を選出した。


吉田会長

主催者を代表してあいさつした吉田祥司会長（ＪＲ連合副会長・ＪＲ九州労組中央執行委員長）は、熊本地震に対する組合員の対応に感謝を述べた上で、安全の確立、組織強化・拡大、労働条件の維持改善等の諸活動について言及し、一致団結して取り組むよう求めた。


今井事務局長

来賓にはＪＲ連合から今井孝治事務局長が出席し、連帯のあいさつを述べた。なお、今井事務局長は、大会前の時間に開催された学習会において、講師として「安全指針」の改訂に込めた想いや、産業政策・労働政策に取り組む意義、取り巻く情勢を考慮した上で今後果たしていくべき組織活動の必要性などについて講義し、その後の双方向の意見交換で理解を深める機会とした。


鎗光事務局長

議事では、鎗光俊勝事務局長（ＪＲ九州労組中央執行副委員長）が運動方針（案）の提起で、「組織改編に伴う組織の強化・拡大が課題である。職制上の上意下達でのコミュニケーションには限界があり、労働者の代表である労働組合が、人的資本経営のための労使の相互理解・相互協力を促し、労働組合がある企業こそ企業価値が高いという事実を掲げてみんなで努力していこう」と檄を発した。

活発な質疑の後、集約答弁を経て全議案が満場一致で決定され、新役員選出の後に、再任された吉田会長の団結ガンバローで閉会した。

